

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月27日（金）

2 確認箇所

雨水回収タンク（G3西タンクエリア D7タンク）（図1）

3 確認項目

トレンチ内溜まり水処理のための移送作業の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、地下に埋設されているトレンチ等に雨水等が流入することにより、放射性物質を含む溜まり水^{※1}が発生している。この対策として、東京電力は、巡視・点検を行うとともに止水や水抜き等を行っている。現在、これらの溜まり水はプロセス主建屋へ移送し、汚染水とともに浄化処理をしているが、今後は汚染水の発生量を低減させるため、放射能濃度が比較的低い溜まり水等^{※2}を、雨水処理設備による浄化後に、構内に散水する計画としている。

本日は、トレンチ内溜まり水の移送先である雨水回収タンクの状況について確認した。（前回確認日：令和6年12月4日（移送元の作業状況））

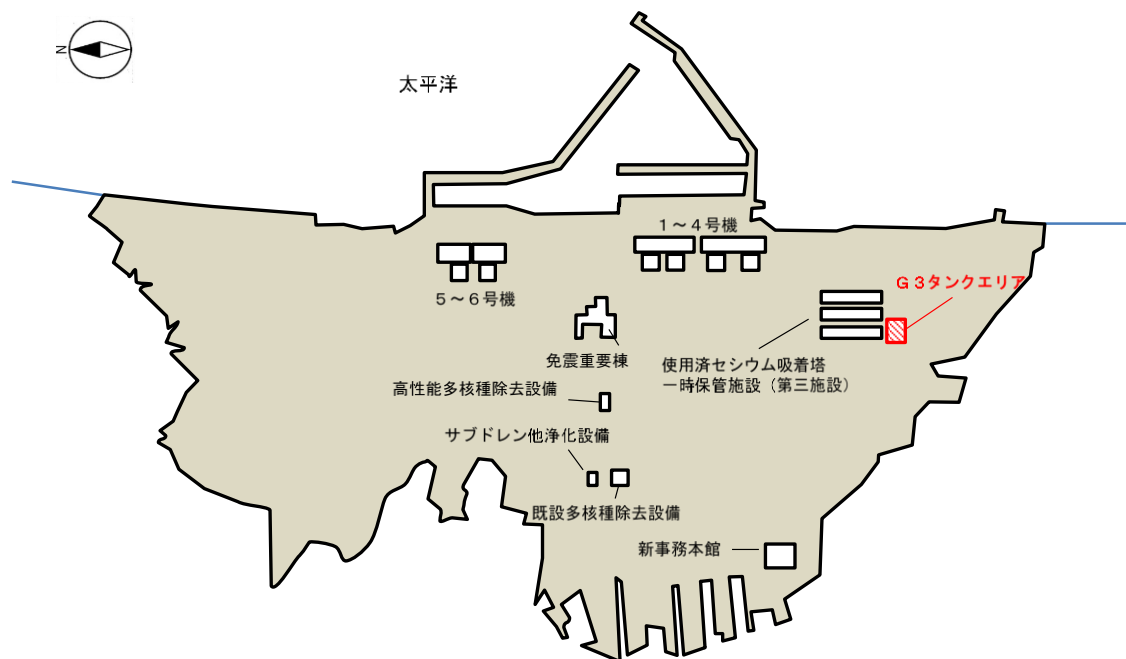
- ・雨水回収タンクの外観には多少腐食が見られたものの、貯水に影響を及ぼすような損傷は確認できなかった。（写真1）
- ・現地確認時、雨水回収タンクに隣接して設置されたポンプは、稼働していなかった。（写真2）
- ・南東側に設置されたノッチタンクから雨水回収タンクへの移送ラインが敷設されていた。移送ラインはポリエチレンフィルムで養生されており、漏水対策が施されていた。（写真3）
- ・現地確認時、移送作業は行われていなかった。また、確認した範囲において、雨水回収タンク、移送ホース及びノッチタンクからの漏えいはなかった。

※1 溜まり水

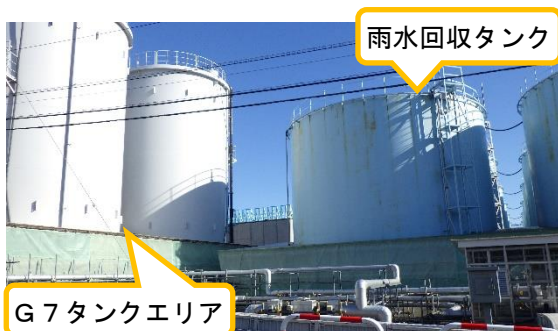
福島第一原子力発電所構内に降った雨水が地下に埋設されているダクトやトレンチ内に溜まった水

※2 放射能濃度が比較的低い溜まり水等

1-4号機建屋滞留水由来の水ではなく、セシウム濃度が10万Bq/L未満のもの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 雨水回収タンク外観



(写真2) 雨水回収ポンプ小屋



(写真3①) ノッチタンク



(写真3②) タンク移送ライン

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。